

道の駅「国見あつかしの郷」が OPEN !

○道の駅「国見あつかしの郷」とは？

平成29年5月3日、県内では30番目の登録となる道の駅「国見あつかしの郷」(国見町)が OPEN しました。

また、それに先立ち、平成29年4月27日(木)に竣工式が盛大に行われ、工事の関係者等によってテープカットや祝賀会が行われ、工事の完成を祝いました。(施設整備の一部(こども木育広場、歴史産業情報コーナー、農産物直売所、カフェ、駐車場)には、国見町中央地区都市再生整備計画事業(H24年~H28年)を活用しています。)



店内には、国見生まれのオリジナル商品や新鮮地元産の野菜やくだものなど“国見の技”があふれる旬のブランド市場「くにみ市場」や、地元食材と真心でおもてなしする国見母さんの伝承メニューが自慢のレストラン「桃花亭」のほか、優しく温かい木のおもちゃに囲まれたスペースで子供との時間を過ごすことのできるこども木育広場「つながる一む」が人気で、連日大勢のお客様で賑わっています。また、会議やセミナーに利用できる多目的のルームを備え、なんとと言っても一番の特徴は、道の駅としては県内初となる宿泊施設「国見 STAY 風道(かぜみち)」があること。東北自動車道国見ICにも近く、観光やビジネスにも便利なおことから予約状況も上々とのことで、道の駅利用者はオープンから間もない6月11日には30万人を突破しました。

ひと・もの・食・歴史・わざ。国見町の宝ものが集う道の駅「国見あつかしの郷」に、皆さんもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

5月3日(水) グランドオープン
5月13日(土) 来場者が10万人突破
6月11日(日) 来場者が30万人突破



(こども木育広場 つながる一む)

(宿泊ルーム)

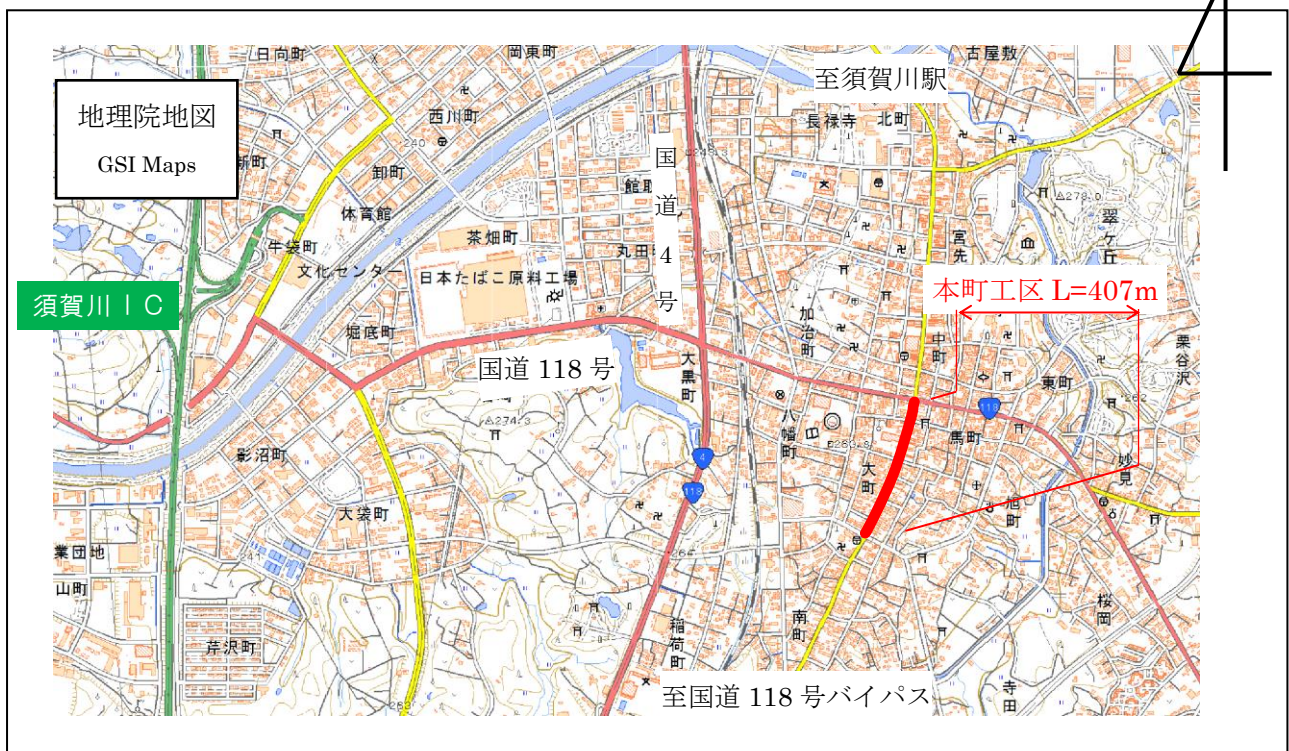
都市計画道路 須賀川駅並木町線【本町工区】が完成しました！

平成29年6月11日（日）に都市計画道路 須賀川駅並木町線（一般県道 須賀川二本松線）本町工区（延長=407m）が竣工し、須賀川市本町において、竣工式が開催されました。

この路線は、JR須賀川駅から中心市街地を南北に縦貫し、国道118号のバイパスにつながる格道路です。

沿道には、市役所や病院等の多くの公益施設が立地し、小学校の通学路、災害時の避難路にも指定されていましたが、歩道が無かったため歩行者が安心して歩ける道路が望まれていました。

竣工式当日は、歩行者天国として開放し、須賀川市のイベントである『第13回芭蕉まつり』、『R O J I M A 2 1』も同時に開催され、街中が多くの人で賑わいました。締めくくりは、須賀川一小的のマーチングバンドが披露され、地域の方々と一緒に完成を祝いました。



写真左：竣工式（テープカット） 、写真右：須賀川一小によるマーチングバンド

まちづくり拝見

小名浜地区都市再生整備計画（汐風竹町通り）

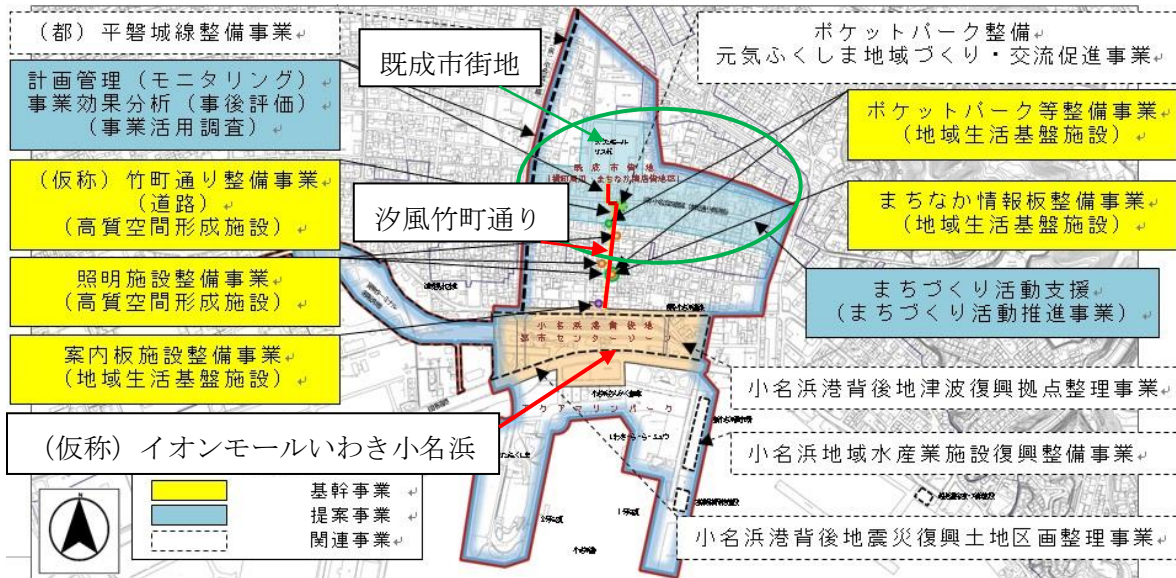
いわき市小名浜地区では現在、平成 30 年6月オープン予定の「(仮称) イオンモールいわき小名浜」を中心とした小名浜港背後地再開発事業が進行中です。アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウ、小名浜さんかく倉庫などが揃うアクアマリンパークと本町通りを中心とした古くからの既成市街地との間に、新たに都市センターゾーンとして大規模なショッピングセンターが出来ることで、小名浜地区の更なる発展と地域活性化が期待されています。

いわき市では、新しい街の誕生による賑わいを既成市街地にも波及させるため、港と既成市街地の一体化を図り、アクアマリンパーク～都市センターゾーン～既成市街地の回遊性を促進しようと、平成 27 年度から都市再生整備計画事業において、汐風竹町通りの整備に取り組んでいます。



(建設の進むイオンモール)

【小名浜地区都市再生整備計画事業の概要】



小名浜地区都市再生整備計画での主な事業は、都市センターゾーンと既成市街地を結ぶ市道本町2号線のリニューアル。賑わいの創出を図り回遊を促すことを目的に、道路拡幅とカラー舗装化、ポケットパークの整備、街路灯やまちなか情報版の設置を実施し、道路の愛称も「汐風竹町通り」としました。



(着工前)



(道路の拡幅とカラー舗装化)



(汐風竹町通りのサイン)



(ポケットパークとまちなか情報版)

また、県でも隣接する(都)平磐城線の整備や元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業でポケットパークを整備するなど支援しており、復興に向けた社会資本の整備が目に見えるかたちで進んでいます。

今後は、地域住民・商店街・各行政が連携した取り組みでイベント等が実施されるなど、小名浜の新たな魅力創造に期待が寄せられています



(街路事業 (都)平磐城線)

TOPICS

○福島駅前通りリニューアル中！

現在、福島駅前通りリニューアル整備を行っています。

これは、「歩行者優先の”笑顔と賑わい”を育むシンボルストリートへ」を基本コンセプトに、福島駅前通り商店街振興組合、福島市、そして沿道の住民の方々と連携して進めている事業です。

工事の進捗情報を東北建設事務所のホームページで公開中です！

「福島駅前通りリニューアル」で検索！



<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a/ekimaedorirenewal.html>

○「立地適正化計画」講習会が開催されました。

平成29年5月29日(月)に、公益財団法人 福島県区画整理協会の主催で「立地適正化計画」講習会がホテルハマツで開催されました。福島県区画整理協会では、市町村のまちづくりを総合的に支援する目的で「まちづくり相談室」を新たに設置し、市町村の多極ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりに係る計画策定業務支援をすすめるとしており、その第一弾で立地適正化計画に関する勉強会として開催したものです。



講習会では、国土交通省東北地方整備局都市・住宅整備課の小林課長から「立地適正化計画」についての説明と、福島市都市政策部の遠藤次長と都市計画課の歌川課長補佐兼都市計画係長から福島市における「立地適正化計画策定事例」が紹介され、県内各市町村等から出席した約80名が熱心に耳を傾けていました。

東北地方整備局の小林都市・住宅整備課長からは「まちをコンパクトにすることは、手段であって目的ではない。人口減少局面に対応するためには、心地良く持続可能なまちを形成していく必要があり、まちの課題に対して“攻め”の対応をするのが立地適正化計画だ。」と話しがありました。

○まちづくり・住まいづくり出張相談会が開催されました

平成29年5月31日(水)に東北地方整備局主催でまちづくり・住まいづくり出張相談会が郡山市総合福祉センターにて行われました。今回の相談会には約80人の県や市町村のまちづくり担当者が出席しました。

この相談会は、国土交通省東北地方整備局の担当者が各県に出向いて毎年実施しているもので、都市・住宅事業に関する国の予算状況、社会資本整備総合交付金や各種事業制度の紹介や変更点の説明、まちづくりの先進事例などの説明がありました。

市町村がまちづくりをする上で欠かせない情報を知る機会ですので、来年以降も関係の方には是非出席をお願いします。

〇三春町がまちづくり達成大賞(まちづくり情報交流協議会会長賞)授賞

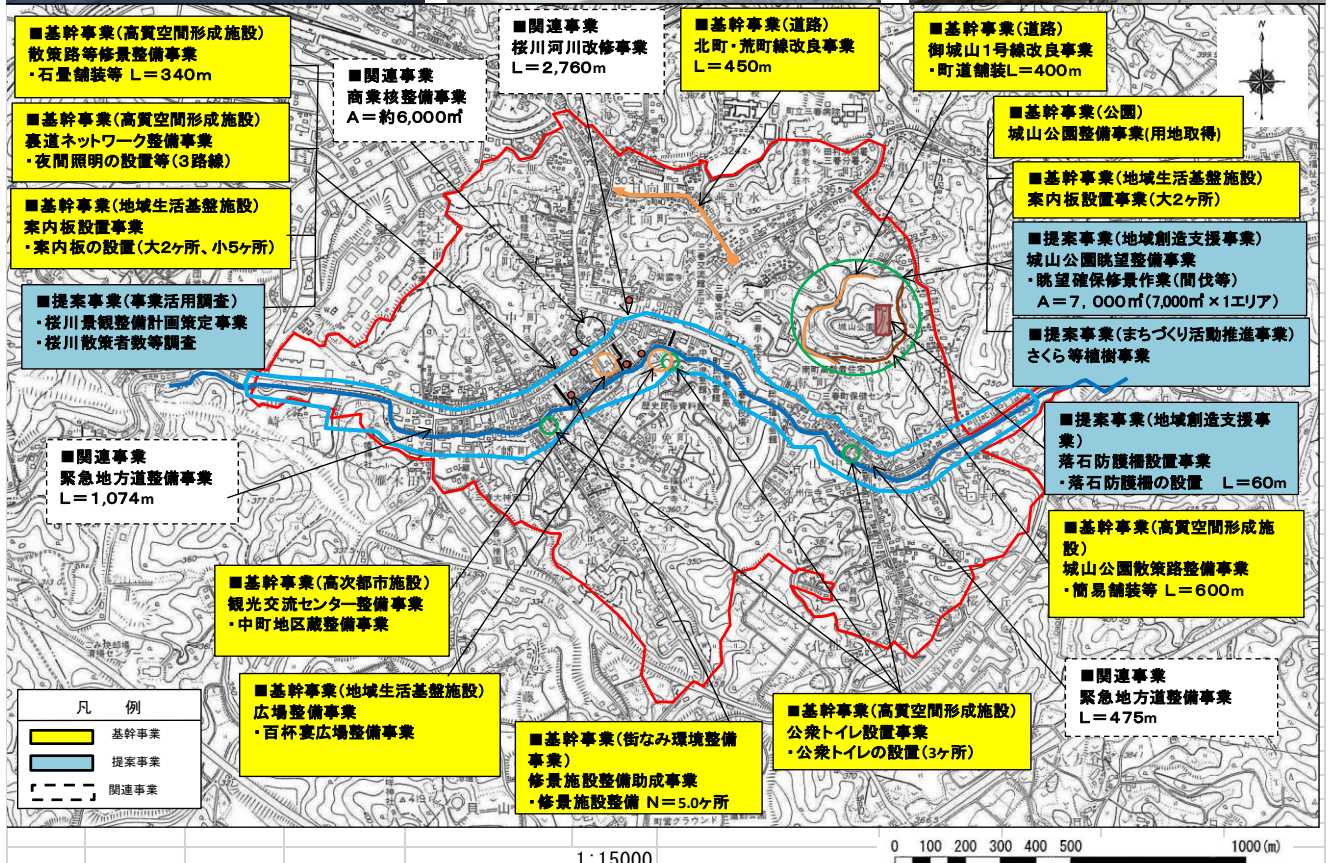
平成29年度まちづくり月間において三春町の三春地区都市再生整備計画事業(H22~H26)が「まちづくり達成大賞」に輝きました。

まちづくり達成大賞とは地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において優れた地区で、全国の都市・地域再生モデルとして特に優秀な地区に贈られるまち交大賞に次いで優秀な地区に送られる賞です。



〇三春地区都市再生整備計画事業の概要

三春地区都市再生整備計画事業では、桜川プロムナード整備として桜川の管理用通路を城下町の雰囲気に合わせて石張りの散策路として整備し、途中の「百杯宴の碑」を活かした桜川親水広場や公衆トイレ3箇所、観光案内板を設置することで、回遊性の高い「うるおい」と「安らぎ」のある歩行者ネットワークを整備しました。また、古くからある町中の蔵を活かして修景を図り、観光案内や特産品を展示・販売する施設「三春なかまち蔵」として活用することでまちなか観光の促進を図りました。他にも三春城跡周辺では、これまで無秩序に広がった高木や老木となった桜の修景整備を行うなど、地域の歴史や町並みの景観に配慮しながら多くの地域資源を活用し、三春らしい交流・憩いの空間を創出しています。



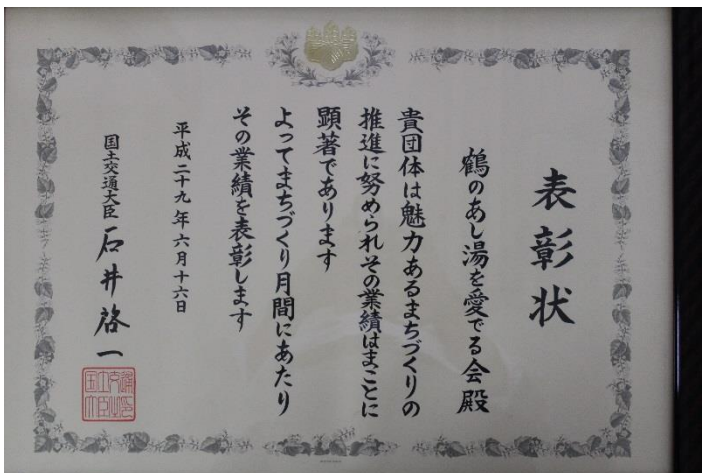
〇鶴のあし湯を愛でる会(いわき市)が第35回まちづくり月間 まちづくり功労者国土交通省大臣表賞を受賞

まちづくり功労者国土交通省大臣表彰とは魅力あるまちづくりの推進に努め、特に著しい功績のあった個人又団体（地方公共団体を含む。）にまちづくり功労者として国土交通大臣より表彰するもので、今回いわき市常磐湯本の「鶴のあし湯を愛でる会」が授賞しました。

〇鶴のあし湯を愛でる会の功績

鶴の足湯を愛でる会は、温泉を活用した交流拠点広場「鶴のあし湯」の計画策定に参加した地域団体等によって結成され、毎週欠かさず（週1回）広場の美化活動を行うほか広場の利活用希望団体との利用調整を行うエリアマネジメント組織として活動に取り組んできました。

震災時においては、支援物資の配布や値域団体等による炊き出しに協力をし、震災後は旅館の女将により結成された「フラ女将」が着物姿でフラを披露する「着物 de フラ」公演ステージの企画運営に関わるなど、継続して広場の利用促進に取り組み、まちの魅力向上に貢献しました。



土木部メールマガジン登録受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は
【土木部メルマガ希望または、解除】



をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp